請願第１４号

「豊川文化ホール」３館（小坂井・フロイデンホール、音羽・ウインディアホール、御津・ハートフルホール）の存続を求める請願

【請願趣旨】

豊川市は、平成２８年８月「豊川市公共施設等総合管理計画」で「新たな文化施設の建設と同時期に、既存施設は廃止する」「大規模改修・改築、設備更新は実施しない」という考えを示されました。

これにより、旧３町の３館（小坂井・フロイデンホール、音羽・ウインディアホール、御津・ハートフルホール）は廃止をするということですが、ご承知の通りこれらのホールは築年数が１８～２３年と新しいものであり、何よりも市民、利用者に親しまれ、その稼働率もホールで６０％、リハーサル室などでは９６％まで到達している状況です。また、この計画は市民や利用者の声を聞くことなく決定されたもので、大変驚いています。

豊川市は４町との合併を経て、現在の豊川市の形があります。これら３館は、合併以前の建設当時から地域住民の思い入れも深く、なおかつ地域のコーラスやピアノ発表会、学生の定期演奏会、サークル活動や展示会など、地域文化の創造・交流の拠点として定着しています。３館の施設は、今後も市内の各々の地域における市民の文化・交流の拠点、さらには災害時等の緊急避難場所としても十分に利用できるものと考えます。「とよかわ文化芸術創造プラン」（平成２４年３月策定）の通り、「それぞれ特徴の異なる４館を大ホール・中ホール・小ホールを有する『豊川文化ホール』という概念で考え」、今後も、旧町３館の存続を求めるものです。

【請願項目】

一、「豊川文化ホール」３館（小坂井・フロイデンホール、音羽・ウインディアホール、御津・ハートフルホール）を存続させること。

二、豊川市の文化会館施設のあり方については、市民・利用者の意見を聞き、共に検討・計画を策定すること。